

2014年10月
1067号

万葉

Manyo

一冊の会 編集部

〒160-0015 東京都新宿区大京町5
(一冊の会研究室)

歴史学者 Dr.Omar Al-EJLI (中東・カタール) が被災地東北を視察

中東情勢が不透明に迷走し混乱を極める昨今、凄惨な状況に心痛めながらも「今回の日本の訪問は、必ず！意義深い結果を！」と固いご決断の元に、中東カタールから歴史学者のオマール博士が来日されました。

カタールは、極めて親日的な国であり、面積は、秋田県よりやや狭い。原油、天然ガス等の天然資源に恵まれ、国民一人当たりの国内総生産【GDP】は世界一（2012年現在、外国人労働者を除いた場合）とされています。王制の元、平和な国で、アラビア語衛星放送局「アルジャジーラ」の本拠地として有名です。また、インフラ設備に巨額な資金を投じ、豊富なエネルギー資源を背景に飛躍的な経済発展を築いています。

この度、オマール博士が来日され、被災地を視察したいという要望もあり、実現することができました。博士は、2011年3月11日東日本大震災のときより、心を寄せられ、博士のご家族からも、深い悲しみと共感のメッセージもいただきました。

今回、大惨事から三年半、復興に努力する日本の素晴らしいパワーを学びたいと、発災直後から支援し続けている「一冊の会」（これまで88回、現地に通り活動している）を通して、各被災地施設等をご案内していただきました。現地には大槻会長、小山理事長、齋藤東北担当理事が同行。



まずは「カタールフレンド基金」によって、本年8月19日に開館したばかりの仙台駅前複合ビル「アエル」8階「仙台子ども体験プラザ Elem(エリム)」を視察。休日にもかかわらず担当室長が出迎えて説明をして下さいました。「Elem」では、子ども達の将来や夢を、実際の仕事体験を通じて経済の仕組み、生活設計能力などを学ぶ場となっております。

博士は、実際に「Elem」施設内の仙台市長席に座って感想を述べるなど、素晴らしい施設の内容に感銘されました。

次に、宮城県女川港、多機能水産加工施設「MASKAR」を訪問。命を守る事の重要性と過去の教訓を参考にした、避難シェルター、備蓄倉庫、冷蔵室、管理システム、全てを視察。「今回の試みが成功事例として、世界のモデルケースとなり、是非とも海産物の輸出を始めてほしい！」と、心から期待を寄せられました。又、津波の被害の状況は、女川町地域医療センターから女川湾を望むと、尚一層、当時の悲惨さに、あらためて自然災害の恐ろしさを知る思いでした。

深い心の痛みを寄せつつ 福島県相馬市に入りました。この日は、9月8日「原水爆禁止宣言」から57年目の記念日。鮮やかな「中秋の名月」が見守る中、オマール博士は念願の福島県災害公営住宅、相馬井戸端長屋に設置された、永遠に灯る希望の灯「雪香灯」をご覧になりました。大槻会長と共に、絶対悪である核兵器廃絶・非暴力社会の構築・戦争のない、世界平和を誓う再確認の日となりました。名月の夜、語り合い、思い出深いひとときとなりました。



翌朝は、相馬市役所を表敬訪問。医師でもある、立谷清秀市長と対談。市長は図表を用い、大震災当時の悲惨な状況から、復興計画・進捗状況、放射能に対する措置と現状・市民に対するケア・被災した子ども達への一貫した教育支援等、ほぼ計画通りに進められている現状について説明を受けました。市長は「相馬市は、武家が治めていた相馬藩と王族制度のカタールと似ているところがあります。私は、王にあたる相馬家を尊敬しており、相馬市が比較的早く

復興が進んでいるのは、この統治形式によるものが大きいと思う。」と語られていました。市長に感銘された博士は、真の友好の証として、博士が執筆された、イスラムの歴史書を贈呈されました。博士は、市長から相馬藩千年の歴史の誇りを学び、感動的な訪問となりました。

次に応急仮設住宅、阿部新太郎ご夫妻宅を訪問しました。阿部夫妻は津波で全てを流され、その上、消防団員として多くの人々の命を救った息子さんは、勇敢な行動と共に命を落とされました。しかし、ご夫妻は前向きに生き抜き、被災者の手本となり、国連ニューヨーク本部で、3.11の現状を報告された事も伺いました。帰り際には玄関前の小さなプランターで育てた野菜（茄子、南瓜等）や、大きなおにぎり等、お土産をいただきました。



オマール博士は、翌9月9日、スーパームーンに見守られ中東に帰国されました。2014年10月2日「国際非暴力デー」に寄せて。

一冊の会 幹事 藤澤まり子 記

～お知らせ～

一冊の会ホームページをリニューアル致しました。アドレスはこちら <http://www.issatsu.jp/>
Facebookも更新中につき、ホームページの右上のFリンクをクリックすると閲覧できます。